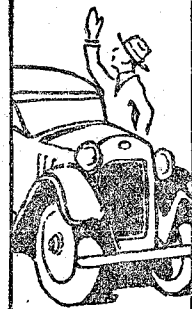


通信

歐洲の視察を終りて

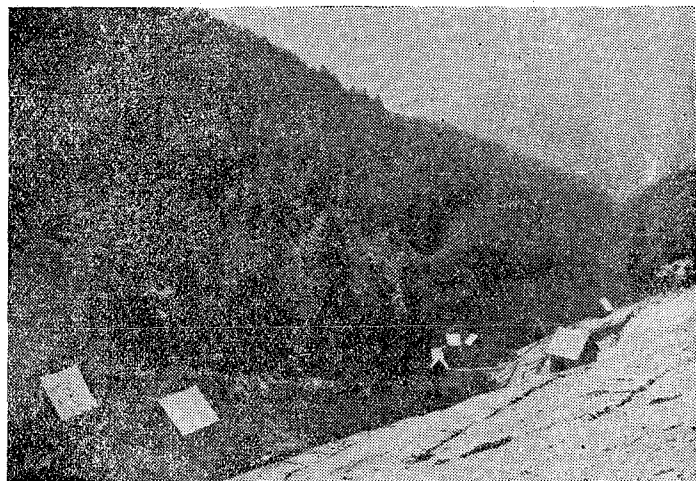
在伯林 地方技師 榊 井 照 藏



瑞西の水力電氣を視察して後再び獨逸に歸り、其の次には英國に渡る豫定であるから、途中を視察しつゝ、ライン河に沿ふて下つた。嘗て故國を出るべき、池田長官から色々懇切な注意を與へられた其中に獨逸へ行つたらバノデンの植林を見る價值があると言はれたので、今同地方を通るのに際し其の事を人に尋ねたところが、それは大體シユワ

ルト、ワルドが主であつて、汽車の窓から良く見えるこのこゝであつたから、窓外に注意して進んだところ、成る程其の名に聞いた通り一面に黒く見へる。頗る廣い森である併しながら汽車から見た丈では其の内容が判らないので思案したが、幸ひ同森林の中には最近に出來上つた發電所があるので旁視察するこゝに決心して、カールスルーで下

して、其の翌日折から降りしきる雨を冒して終日自動車で



林森ドルアツルアユシのツイド

森林地帯を走つた。立入つて見れば成る程大したもので、

車池田長官の言葉の通りで今更長官の該博なる識見に敬服した。此森林は一帶にバーデン州の所有に屬してゐて、州の經營するものであつて、順次に其の一部分を拂下げて、伐採せしめ、其の後は直に植林して居る。見渡す限り實に立派な檜、樅等が亭々として繁茂し其間には車馬の通ずる道路が縦横に走つて居る。夫れに鐵道も漸次延長されつゝ、あつて伐採、運搬等總て機械力を用ひて居るこゝは、實に理想的のものである、フォルバツハに植林事務所があるので、經營方針等を聞きたいものと思つて訪ねたが、丁度所員は皆山林中に出張中であつて、其の話を聞く事を得なかつたのは残念であつた。けれども實際を目撃した丈けでも視察の効果が充分であつた。

此處の發電所はバーデン州有鐵道の動力に使用されてゐるのでムルクミ云ふ川の三つの支流より水を引き各々別の水路、鐵管等によつて發電するのであるが、發電所は一ヶ所に纏めて發電して居る。各支流別に工事を施行したものであつて、第一乃至第三期に分ち、第一期は戦時中に竣工

せしめ、其の出力三萬馬力、第二期は一九二二年に起工し最近竣功したもので出力五萬六千馬力、第三期は未着手であるが、之は單に堰堤を築造して貯水するだけで、其水を第二期の貯水池に送つて發電を安全ならしむるものである。自分の見たのは發電所と第二期の貯水池であるが、何れも獨逸最新の技術を應用したものであつて、實に完全無缺のものと言つて可い、貯水池の堰堤は高さ六十七米、頂幅三百八十米、貯水量千五百萬立方米を有する玉石コンクリートであつて、殊に表面の石張の壯大なること、其の貯水池の周圍が鬱蒼な森林で掩はれてゐること、は誠に安全な貯水池であるを觀察した。此處の視察を終つて歸路は別の道を探つて、彼の有名な温泉地バーデン、バーデンを通つたが、評判に違はず立派な所で堂々たるホテルの軒を並べて居ること、單に設備と云ふ點から言ふと箱根も亦及ばないやうに考へられた。次いでフランクフルトに出で、同

市の水道及び隣市ウイスバーデンの水道等を視察した。之等の水道は矢張り獨逸式に地下水を利用して居るので、鐵

分を含有する事多い爲に、之が除去に就て特殊の方法を探つて居る。前者は濾過池の濾過層に大理石を碎きて用ひ、後者は急速濾過器に石灰石粉を混入して化學的に鐵分其他を除去して居る事を非常に珍らしく思はれ亦其の効果も著しい事を認めた。

フランクフルトはライン河の支流マイン河の兩岸に有る町であつて、獨逸人が特にフランクフルト、アム、マインと稱する程、夫れ程、此河には興味と設計に苦心の跡を見らるゝ立派な數條の大橋で連絡して居るが、特に目に付いたのは、是等の橋の一つの橋臺に過去の洪水位を年號と共に彫刻して居る事であつた。夫れに依つて見ると、出水の程度は中々大きいやうであるが、此水出の歴史を確實に保存する事は誠に良い思ひ付であると思つた。自分も已に其經驗を持たぬではないが、河川の改修を設計するに當つて、過去の洪水位を調査する事は中々骨の折れる仕事であつて、遂には古老の言質等に依つて推定するの外ない場合もあるから、其の結果は甚だ不確實の譏を免れぬのであるが

此處の例のやうに不動の箇所を永久的に印して置くことは、將來に於ける總ての點に非常に役立つ事と思はれた。將來は日本でも岩なり其他の確固不動のものに洪水位を印す事は非實行して貰ひ度いことと思ふ。

一般に歐洲では總ての人が、古來土木建築の事業に對して非常に趣味を持つてゐたことを認めるのであるが、其中でも橋梁の如きものは特に都市の美觀に重大な影響を有するもので、是が設計には夫々苦心して居るが、達觀してみるとき、其の程度の最も進んで居るのは矢張り獨逸が一番である。大橋には細部に餘り拘泥せずして其の壯大を計つてゐるが、小橋に至るに細工を施し、優美なことに注意して單に實用的と言つたやうな無頓着に架くる事は無いやうで、一種の美術品的に取扱つて居るのは誠に羨ましく感じた。此外獨逸人は又特に日本に對する趣味を非常に持つて居つてベルリン、ドレスデン、ミュンヘン、ハンブルグ其他の大都市には、必ず公園の一部には日本式の庭園を造るか、或は博物館の一部に日本館を設けて居る位であつて、日本

の風景時物を憧憬して居る感を起さしむる。ベルリンの有名な百貨店ウエルトハイムでは、日本商品部が設置されて漆器、陶器の如きものを陳列してゐるが、中には日本品を模造した獨逸製品らしきものを見受ける。之は單に此處は陳列するばかりでなく英、佛等にも盛に輸出せらるゝらしい。日本に採つては打撃でもあり又迷惑でもあらう、其の外ホテルでもボーイなきが、日本人に接するに御早うか今日はさか言ふ位な簡單な日本語を使つてゐるのが何さなく心強く感じた、フランクフルトの水道技師長に招かれて夕食を共にする爲めに、さあるレストラントへ入つたが、其處の樂隊が直に鐵道唱歌を歌ひ始めて呉れたのは、全く面喰つた程で、日本に對して親しみを持つて居ることに對して深甚の敬意を表したい心持になつた。

次でデュセルドルフに向つたが、此途中には有名なライオン下りを船でやる部分があるが、汽車から見たところでは吾々日本人に取つてはささ大した景色であることは感ぜしめなかつた。唯だ大きな岩の上に古城が點々して存在す

る位が變つて居るのミ、川には滿々たる水を漾へて盛に川
蒸汽の上下して居る位が異なる點である、デュセルドルフは
新興の都市だけあつて、道路公園等は獨逸近代技術の精ミ
細心な注意ミによつて築造せられ、實に氣持ちの良い町で
ある。其の市及び附近の鐵工業の盛な事は想像以上の事であつた。

デュセルドルフからオランダを通り抜け、同國の視察を
後廻しにして、直にフリユートシングと言ふ英國への連絡港
からオランダの船で英國のハルウィツチに上陸した。英國
ミ歐洲大陸間の連絡は、各國が盛に競争してやつてゐるの
で汽船の速力、其の他の設備は共に何れも完全なものであ
る。現に自分の乗つた船は出港して暫々の間濃霧の爲に惱
まされ前途に突然帆船が現はれるので速力を制限してゐた
が、やがて霧が晴れるミ非常な速さで走り出した、余り快
速力を出すので船尾のメーターを眺めるミ一時間三十哩以
上であつたのに驚いた。

自分が英國に滞在したのは丁度十一月中旬からで、最も

氣候が悪くて、霧の多い時であるミ聞かされてゐたが、併
し話の種には夫れも可いだらう位に考へて行つた、併し行
つて見るミ甚だしい事は想像以上であつた。ロンドンに着
いた翌朝から、ずつミ續いて毎日屋外は濃霧ミ煙で充満し
眞暗の中に街燈が黄色ほんやり輝いてゐる光景で、何時
夜が明けたのやら、日が暮れたのやら分らぬ位である。街
に人や車の動いて居る有様は、丁度奈落の底に呻吟する動
物ミ云ふ形容が當て嵌まるやうに思はれた、つけてゐるカ
ラーは一時間も経過するミ眞黒になるミ云つた調子で、實
に不愉快である。成る程之では英人が春の來るのを待ち兼
ねる譯であつて、假令春や夏のロンドンが如何に良い言
つても、斯かる時節のある事を思ふミき英人の實に不幸な
生活に同情を寄するミ共に、此點では吾々日本人の生活が
實に幸福である事を深く感謝せずには居られない、此外ロ
ンドンの街路が不規則に慥らへられ其の狭いこゝや、建築
の粗雑な事は自分をして案外に思はしめた、而も其の狭い
町を往復する乗合自動車に御丁寧にも二階造りであつて車

が路幅に相應してゐないのは、一層道路交通の混雜を増し



ロンドンピカデリヤ街の混雜の状況

つゝある、時々自動車同志が衝突したり自転車を碾いたり

體してゐるのを見た、此様な交通状況であるから徒歩でロンドンの街路を横切ることは全く命懸けと言つてよい。英人の力を以て何か外に方法を考へないものか、ミ疑はしめた。

暗い淋しいテムス河畔を一人で歩いて居るに、突然物陰から人間が飛出して來た、何でも前身は歐洲戰爭に参加したミ云ふ失業労働者であつて、一枚刷りの哀訴の歌を賣り付けた、見れば一體戰爭の際は自分達を可愛い妻子の許から無理に引き離し、戰場に送りながら今は全く顧みて呉れない、何卒我々に職業の優先權を與へよと言ふやうな意味であつた。失業救済のこゝなミは自分の視察する目的以外であるから、深く研究はしないが、聽く所に依れば、英國の失業者は何れも政府の補助を受けて生活して居るので全然生計に困る事は無い、従つて外國に出稼する者もなく、却つて失業者を増加する傾向があるミ聞かされた、トラファルガー廣場のネルソン像下では、一部炭坑の同盟罷業者が、街頭演説をやつてゐるのを見受けた、毎度の事で

珍らしくも無い見へ、流石に物見高いロンドンでも、余りに聴衆が居ない、夫れに其の中を他の勞働者達が箱を持ち廻つて寄附を請求して居る、斯かる例は獨逸でも澤山見受けたが、一體歐洲の同盟罷業には夫々一定の基金を持つてゐて、算盤を弾いてやつて居るのであるから、日本人のやうに眞劍味を缺いてゐるやうである。

英本國では地勢の關係からして、水電は極めて少ない、スコットランド地方ミアイルランドに在るばかりで、火力發電が盛であつて、政府は最近委員會を設けて送電系統の統一を計つて居る。此様な關係から自分は當國では水道、港灣等を見るこゝ、して先づロンドンから始めた。

ロンドン港は、古い歴史を持つ港灣だけに上流の方の舊港は、殆んど現代の大船に對しては役立たない、従つて次第に下流の方へ延びて發達して居る。何れも汐の干満の差が大きな爲めに閘門を築造して船溜に碇泊せねばならぬ不便がある、併しそれでも鉅資を投じて擴張に努め、新らしいビクトリア、アルバート等のドックは何れも完全な設備

を持つてゐる。

英國の水道は、全く獨逸の夫れとは違つて、地表水を利用するものが多い、又古くより發達した丈けあつて、其の完備した點は恐らく歐洲第一であらう、ロンドン水道は、テームスの濁流を水源として居るものであつて、未だ今日のやうに化學的處理法の研究せられない時代に造られた爲に、沈澄並に日光殺菌の目的の爲に非常に大きな貯水池を造り、築造以來今日迄未だ一度も水を引き出したこゝが無
い貯水池がある程で、流石に因襲を尊ぶ英人も、學術の進歩に動かされ、次第に急速濾過法、鹽素瓦斯殺菌法等を設備しつゝ、有る。殊にロンドンのパターンソン會社がバテントを持つてゐる急速濾過装置は、英國内に盛に用ひられて居る、英國内を旅行すべく先づリーズに向つたが、英國の汽車は自慢されて居るだけに清潔で動搖する事も少ない、唯だ等級は一等ミ三等丈けしか無いので賃金は他國に比して高いやうである。それに全部私設會社によつて經營せられて居るから、各會社は競つて速力を高める事に努めてゐる

例へばロンドン、グラスゴー間の如きは、東廻りも西廻り



例一の場車停國英

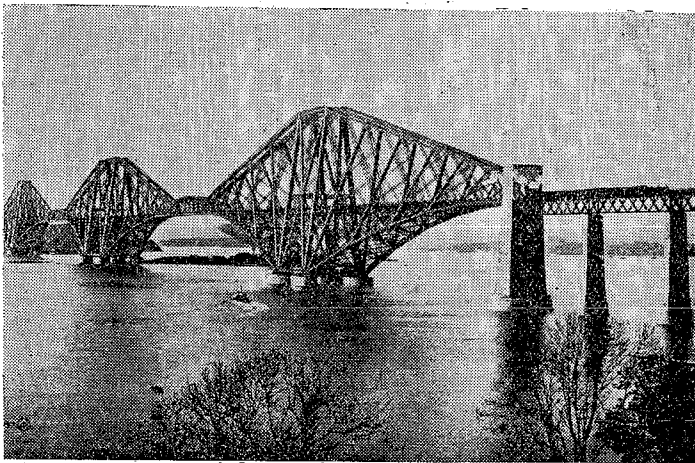
みに爲つてゐるから、平均五十哩の速力を出さねばならぬ譯で、従つて最大速度で時間表を造つて居るから、兎角遅れ勝ちであるが、習慣になつてゐる性が、英人は二時間や二時間の遅延は餘り氣にして居ないやうである。斯く鐵道を経営する會社が多い爲めに、停車場が一市内に非常に多く設けられて却つて乗降に不便である、偶々同一の停車場を使用してゐるものに在つては、田舎者の自分達には汽車を間違へる恐れがある。停車場には盛に廣告を張り詰め、何處に驛名が書いてあるやら一寸判らぬ位で、不慣れの旅行者には甚だ迷惑である。リーズ附近は、英國中最も工業の盛な地方であつて、所謂煙の都ばかりで、丁度日本の九州八幡製鐵所附近を通る時と同じ氣分がするが、暗くて不愉快なことは遙に甚だしい。リーズ附近の交通は、リーツ水道は、附近のブラッドフォード、ハセゲト兩市と共に、同一地方に隣接して何れも溪流を横斷し堰堤を築造し貯水池を造つて居るので、丁度其の光景は堰堤の展覽會を見るやうであるが、餘り取り立て、囃立つるものは

この二會社線があつて、何れも約四百哩を八時間で走るこ

無い、一般に英國の水道でも、鐵管内部の腐蝕に對しては相當に研究して居るやうである、此處では鑄鐵管内面にセメントモルタルを附加して腐蝕を防いで居るものを見た、其の他永年使用して居る鐵管は、内部が腐蝕するの外、種の礦物質沈澱物が推積して著しく流量を減ずるので、種のスカリアファイヤー（掃除器）を用ひて居る、其の結果を見るに、相當良好の効果を擧げつゝある、是等は日本の水道に於ても、相當研究すれば非常に有効であらうと思はれた。

エヂンバラはスコットランドの都で、丁度日本の京都に相當する都市のやうで、其の主要街路であるプリンセス、スツリートは、片側は公園に沿ひ、英國では第一の美しい道路でエヂンバラの自慢の一つになつて居るが、自分は更に夫れよりも町の中央に聳え立つ岩山の上の古城が非常に良いと思つた。エヂンバラ附近には、例の有名な大橋梁フォース、ブリッヂがあるので行つて見たが、此架橋は世界屈指の大工事と稱せられた丈けあつて、實に壯觀でフォース

灣を横ぎつて、中空に高く延長七千二百九呎の長さに互る



橋 ス ー オ フ ォ

大鐵橋である、此處に架渡したのは随分思ひ切つた仕事で

技術者が自然を征服した感じがして痛快に堪へなかつた、

グラスゴーを見て、リバプールに出で同港及びマンチェスター運河を視察したが、リバプールはロンドンと共に英國が力瘤を入れて居る丈けあつて、完備したもので殊に最近出來た大評判のグラッドストーン、ドックは大きなものである、リバプール港で特に氣の付いた事は港の維持及改良等の一切を、政府及び港に直接關係のある實業家等の共同委員から成る委員會の手で行つて居る事であつた。マンチェスター運河は、會社の手に依つて築造されたもので、純工事費千二百七十二萬餘磅の大金を投じ一八九四年に開通したものであつて延長三十五哩半の長きに亘つてゐる、英國中最も盛な地方を貫通して居るので鐵道やら道路等の横斷が多いにも拘らず良く竣功せしめたものである、マンチェスター港も設備は完全なものであるが、是等のものを詳細に述べるに長くなるから省略するが、兎に角運河の入口が已に河口より十九哩あるから合計五十四哩半の奥深い所に迄、大船が出入し得るので、運賃の節約は大したもので

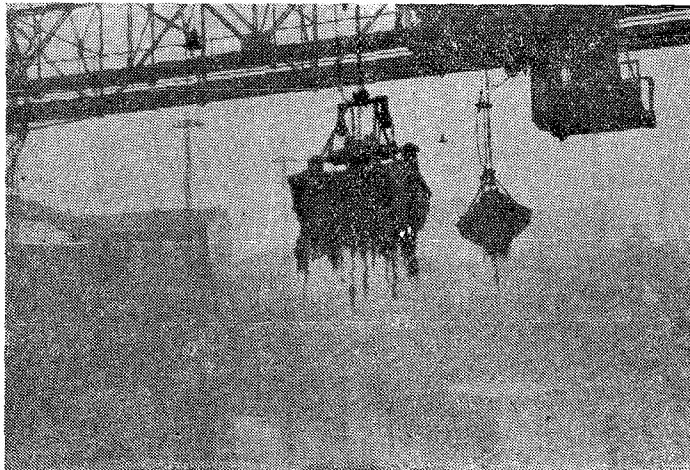
ある。

バーミンガムの水道を見てロンドンに歸つて大體英國の視察を終つたが、道路に付いて感じたことは、全體を通じて石塊鋪裝道の非常に多いことである、最もロンドンでは大部分木塊で鋪裝され一部にはアスファルトも使つて居る。一般に石塊鋪裝は交通に對しては非常な不愉快を感じるもので、特にマンチェスターの如きは、比較的大きな石塊を使用して居て夫れが相當年數を経て居るので狂ひを生じ、車輛に對し大なる衝激を與ふるばかりか、降雨の爲めに濕さる、時は這るので具合が悪い、併しながら耐久の點から言ふに第一であるから經濟上已むを得ぬであらう。それでも我國のやうに鋪裝しないよりは遙にましである。滯英約一ヶ月でドーバーを経て佛蘭西に入り巴里に渡つた。十二月末のこゝまで寒さは甚だしい、或る朝の如きは外出しやうとしたら宿の主人が今日も出るのかと問ふから何故か反問して見るに、往來が寒さの爲に凍つて交通危険であるに答へたが、差した事もあるまいと思つて出て見る

ミ成る程夜來の寒さで街路面の温度は全部結氷してゐて、
 一面恰も鏡のやうに輝きこつてミても歩けないので已むを
 得ず引き返し午後解結する迄待つた位である。併し自動車
 の交通路には市で細砂を撒布し漸く通過して居つた。東京
 横濱等で時々雪掻きの爲に人夫を多數使用するのミ同じや
 うに巴里では砂撒き人夫を要する譯である。併し天氣に晴
 れて明るく彼のロンドンのやうに不愉快な霧や煙が無いの
 で寫眞を撮るこも出来るし初めてホツミした感がした。
 巴里は何ミ云つても遊覽の土地であつて、丁度所謂オペラ
 シーズンで英米人の遊びに來る者多い、まるで佛蘭西人の
 巴里では無く外人特に米人の巴里のやうな感じがする、例
 の巴里獨特の施設である歩道に椅子を並べたカフェーは、
 夏ばかりのこもかミ思つてゐたら、冬でも矢張り經營して
 る。周圍を硝子で圍つて居るのは未だ良いが、中には吹
 きさらしに餘り效力も無いのに不拘電気暖房器を置いて居
 るものもある、夫れに客は満員でコーヒー一杯でぼんやり長
 時間往來を眺めて居るのは、ミても我々にはしたくも出來

通 信

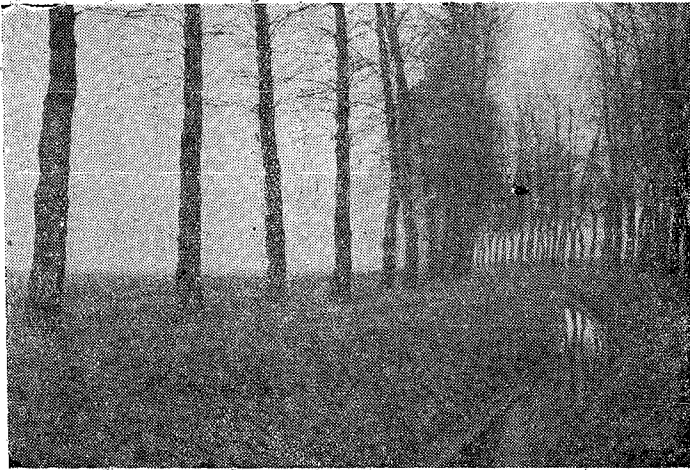
ぬ藝當である。水道及下水を視察したが、矢張り遊覽旁見



(置裝去除物形固) 池溜の水下り

物する人が多い爲であらうか、下水の如きは市役所に近い

案内に便利な處の暗渠内に圖面を掲げ、其附近を見れば下



場理處の水下リバ

水の大體が判るやうに準備されて居る、巴里の下水は實に

其の建設古いにも拘らず立派なもので特に感じた事は暗渠



池過の濾道水

の斷面に充分の餘裕を存せしめて水道鐵管、電燈、壓搾空

氣鐵管等を暗渠内に排列して居るこゝであつた。斯くすれ



バリの水道のポンプ生装置

は度々路面を掘り返して交通に障害を興ふるやうな事もな

通 信

く、又水道にしても漏水の發見等にも大變便利であると思はしめた、尙下水の處理場等を拜見し度い要求したが、喜んで案内して呉れた下水は、町はずれの溜池に全部集まり、此處で浮沈物を除去し、更に數哩の郊外に屬する耕地に送つて、耕作物の肥料に供して居るが、中には餘りに土地が肥へ過ぎて瘦土と混合してゐる所もある位で、見渡す限り廣々たる畑には野菜が立派に生育して居つた。

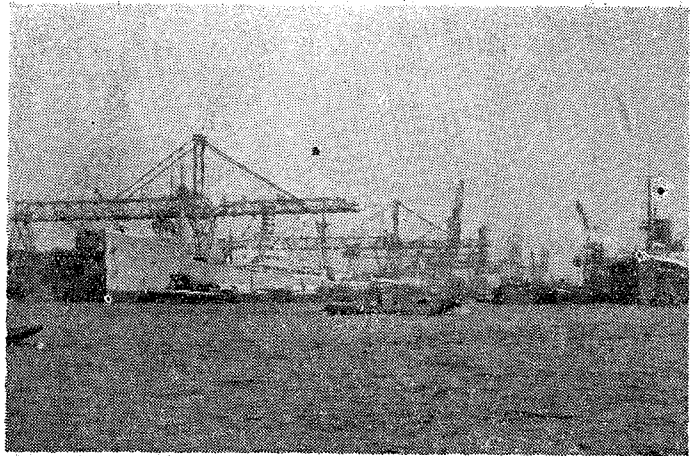
水道はバリ郊外セイヌ河の上流で水を取り入れ、濾過後ポンプで送水するものであるが、特に氣の付いたのはオゾンで大規模に使用し殺菌して居るこゝであつて、此外鹽素瓦斯を用ひて居る。

バリは滞在數日で已に視察すべきものも無くなつたので正月早々ベルギー、オランダを見るべく出發した、途中佛蘭西東北部ベルギー境に水道用鋼鐵管を製造して居る工場があるので、之も序に見たが、此地方は彼の歐洲大戰の際最も激烈な戦鬪のあつた地で、工場には當時破壊された寫眞が掲げて居つたが、實に其の慘狀は甚だしく、丁度震災

當時の東京横濱の寫眞を見るやうな氣持がしたが、今日では已に完全に復舊して居る、此地方からベルギー一帯は工業の盛なこゝは想像以上であつて、ベルギーに入るに製鐵により生じた鑛滓をピラミッド形に推積して居るのが非常に目に付く。ベルギーは世界で最も人口稠密な所だけあつて、水道事業も早くから發達した、南半部は各町村皆獨立して給水して居るが、北半部は未だそれ程に發達して居らぬので、政府では久しき以前から種々研究の結果遂に半官半民の水道會社を組織し、鑿泉に依つて一大水源を作り、各市町村に大量給水をなして居る。各市町村は更に是れを受けて自ら配給事業を經營し、首府ブラツセルでも一部不足するので此の水を買つて居る。此會社では更に送水線路を延長して北海の岸のオステンド港迄給水する計畫で目下着々工事を進めて居る。

ベルギー、オランダにはアントワープ、ロッターダム、阿姆斯特ダム等の大きな港があつて、何れも競つて設備の完成を期し、皆同じやうに自分の港が第一であるに自負し

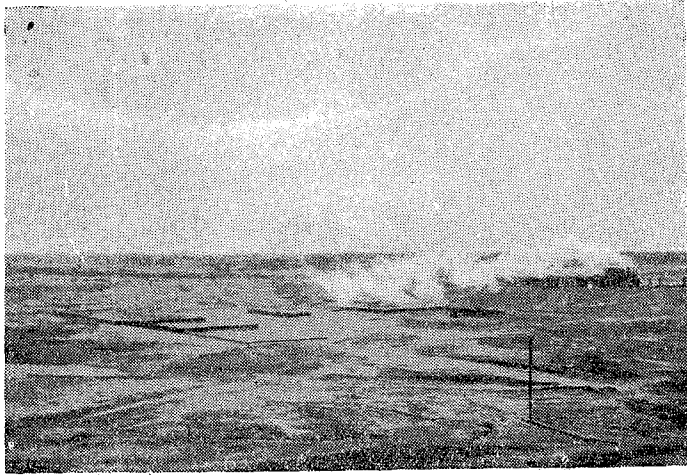
て居る。何れも視察したが、自分の見た範圍では現在に於



ロ ッ タ ー ダ ム 港

てロッターダムが最も完備して居るやうに思はれた。此の

外オランダではゾイデル、ゼーの埋立工事を視察したが、



場事工立埋ーゼ・ル・アイ

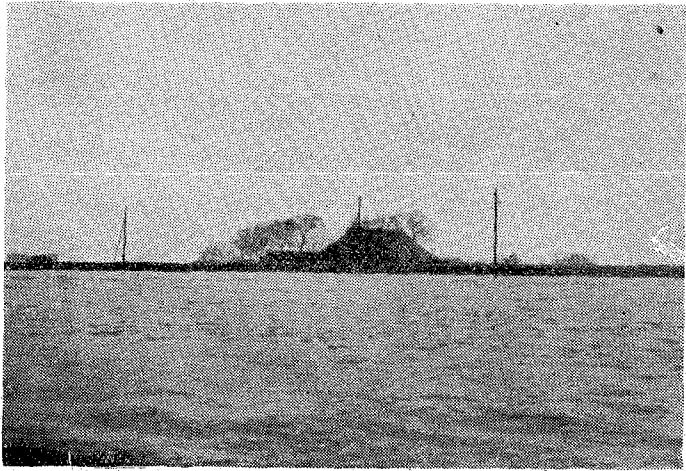
之は實に國家的の大事業であつて、例のオランダの中央北

通 信

部に入り込んでゐるゾイデル、ゼーを稱する一大灣を化して陸地とする工事で、分り易い爲めに埋立工事と言つたのであるが或は當を得た言葉で無いかも判らぬ、嚴格に言へば乾澤事業とも言ふのであらう、兎に角灣の一部を堤防に代りて締め切り、中の水を換へ出して陸地を作るので、日本のやうに海面より高い陸地を造るのでは無い、海面より低い土地が出来るので排水は自働閘門に作つて干潮時を利用して行ふのである。斯くして出来る土地の面積は二十萬四千ヘクタールと言ふ廣大なものでオランダ國の全面積は三百二十六萬二千ヘクタールであるから、恰度七パーセントだけ國の面積が増加する譯である。之を全部耕作するこゝが出来るとしたら恰度十パーセントの耕地の増加になるさうである。一寸考へると、吾々には海面より低い土地と言へば不安に感ずるのであるが、元來オランダ云ふ國は、極めて土地の低い國であるから斯く海面より低い土地に至る所にあつて、昔から言ふやうにオランダ人は他國と戰爭する代りに絶へず水と戦ふのだと稱して平氣なもの

である。北海よりアムステルダム港に至る運河の如きも、

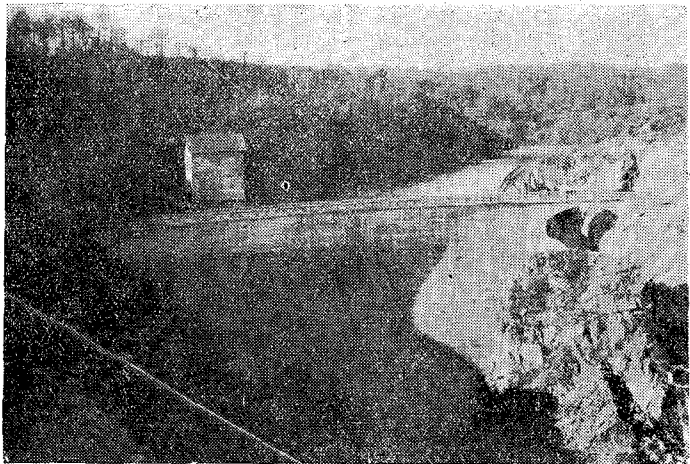
る、オランダの視察を終つて佛蘭西の水力電氣を視るべく



河運る至にムダルトスムアリよ海北
(す示なき高りよ地土が面水)

此例で寫眞に見らるゝ通り家は水面より遙かに低い所にあ

再び佛國に歸つた。



例一の所電發部中スンラフ

佛蘭西の水力電気と言へば、大體東南部のアルプス地方及び西南部のピレネー山脈地方に經營されるのであるが、此外中部地方にも案外大きなものがあつて、是れ迄餘り紹介されて居ないので、同國の水電は餘り大したことは無いだらうと思つて居たが、實際は夫れを裏切つて已に今日發電して居るだけでも二百四十萬馬力以上に達して居る、工事の如きも實に立派な珍らしいものが澤山ある。元來佛蘭西人は技術に對して獨創的天才を有して居る事は周知の事實であつて、此天才の發露は水力電気工事にも亦見ることが出来る。中部のバリ、オルレアン鐵道會社のエグーゾン發電所の如きは、實に立派なものであつて、其後自分が獨逸で見た新聞にすら代表的の發電所として寫眞を出して紹介されて居る位である。南部地方の發電所は、大體代表的のものに就ては全部視察したが、之を述ぶることは餘り専門的に亙つて長くなるから省略するが、唯だ其の中で二三珍らしいもの、寫眞だけを高覽に供する。

水電行脚を終つてマルセイユに出た、此處は昨年八月抑

も歐州に第一歩を踏み入れた土地であるが、其時は前途を

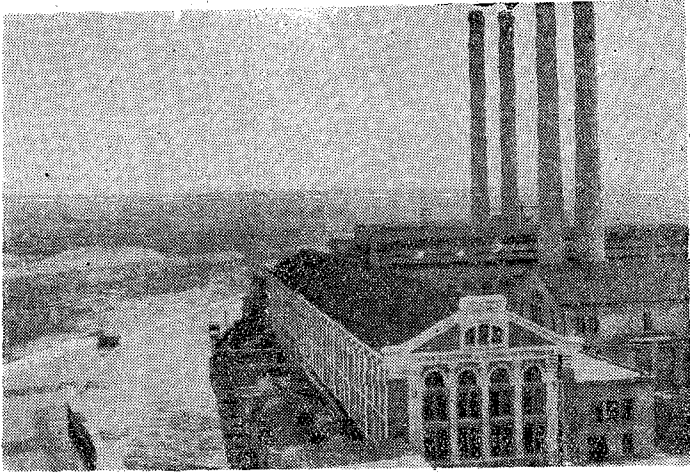


一の所電發の方地スプルア、スンラフ
(おあて珍る頗ではのもるれ造に中の窟巖)

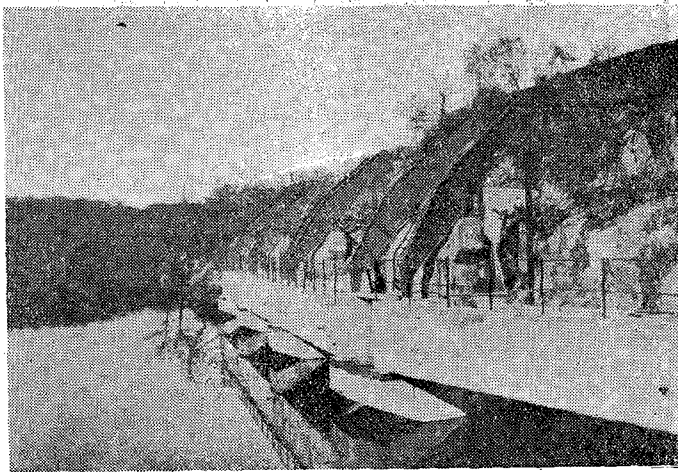
急いだ爲に充分な視察を遂げなかつたので更に水道、港灣

等を見るこゝにした。同市の水道はロース川の支流デユラ

であるが、一帯に此地方はローマ人の影響を受けた勢か、



所電發の部南スンラフ
(のもいじら珍の置併力水力火)

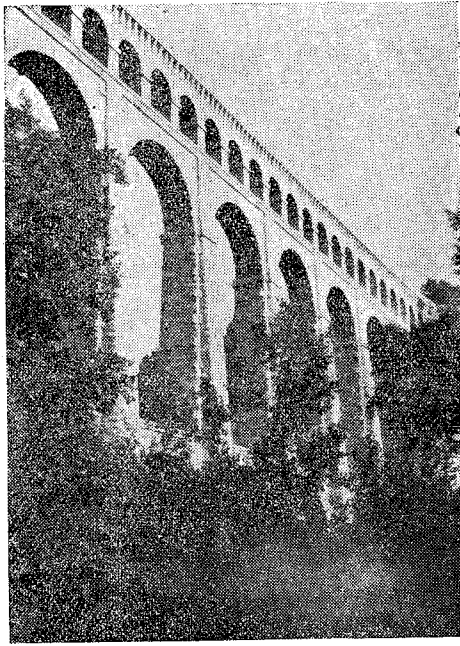


駆動自の池水貯所電發部中スンラフ

ンス川から十數哩の間を全部開渠に作つて導いて居るもの

石工は非常に巧であつて、現に此開渠の如きも溪谷を横斷

する所は彼のローマにある、古代水道の遺跡のやうな大きな石造のアーチを架渡して居る。此水道の特色は、水を單



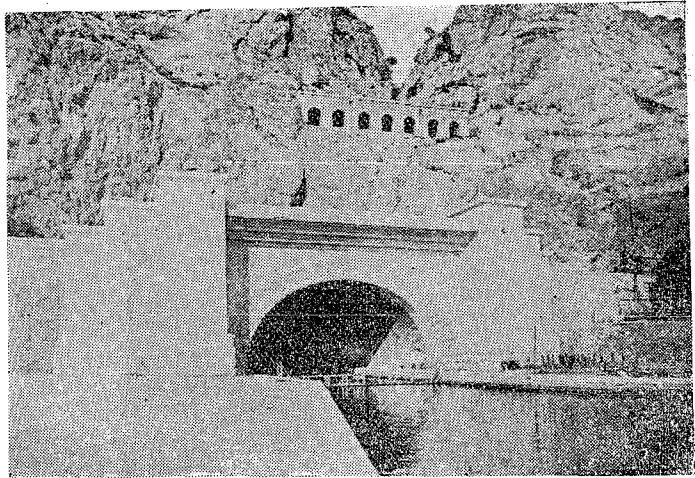
マセルユ水道水路の橋梁

斯殺菌の方法でも施したならば良いのでは無からうかと思つた、併し一面濾過の費用を省いて居るので、市街の洗滌

用等には惜し氣も無く使つて居る。従つて街路は甚だ清潔である。マルセイユの街路は矢張り大部分石塊舗装であるが、附近の郊外道路は實に立派なアスファルト舗装を施して居て、寧ろ北部パリ附近よりも遙かに優つてゐるやうである。まだ二月ではあるけれ共、此附近は非常に暖かで滑かな郊外道路をドライブするに、已に櫻桃、梨花などが満開で日本の三月末頃の氣分を想起せしめた。マルセイユ港はフランスでは第一の港であるから、同國の力瘤の入れ方も大したものであつて、近くの伊太利のゼノア港と競争して盛に擴張を行つて居る。此マルセイユ港の擴張は、現在の防波堤を西に延長し其内側に岸壁を造るのであるが、其西端に接してマルセイユ、ローヌ運河を導いて居る、此運河の隧道は有名なものであつて、昨年四月に舉行した開通

に沈澱せしめたゞけで濾過して居らぬこゝであつて、飲用には更に各自で濾過せねばならぬ不便がある。之に鹽素瓦

式には大統領自ら出馬した程である、隧道は延長七千百十



道隧の河運マール・ニイセルマ

八米、幅二十二米、高十五米四の内の四米が水深と云ふ素

晴らしいもので、佛人は世界第一の大隧道と言つて自慢して居る。以上で大體の視察を終つたのであるが、案外時日を要したので、當初豫定したやうにイタリー等を悠々視察する事が出来なかつたのを遺憾に思つた。併しイタリーの水力電氣は、大體北部のアルプス地方で瑞西視察の際序に見て居る關係もあるので其の視察を見合せ、大急行でイタリー、ハンガリー、オーストリア、チエツコを経て、ハンブルグから米國に渡るべく再び獨逸に歸つた。

イタリーに於けるムツソリニの人氣は大したもので、何處に行つても伊太利人に依つて彼の話を聞かざるゝのには閉口の外ない、併し大戦前は一小學教師であつた彼が大戦には一兵卒として参加し今日の位置を得たことは何と言つても一代の幸運兒である。併し彼自身も確かに傑い所も有るのであらう。イタリーの汽車旅行は餘程要心しないものを盗まれるさうであるが、今日では警戒頗る嚴重で、停車場は固より車中には憲兵やらファツシストの巡查やらが澤山居て、若し盜賊が見付かるものなら非常な刑に處する

ので殆んぎ其の跡を斷つたミ云ふことである、之も亦偏に



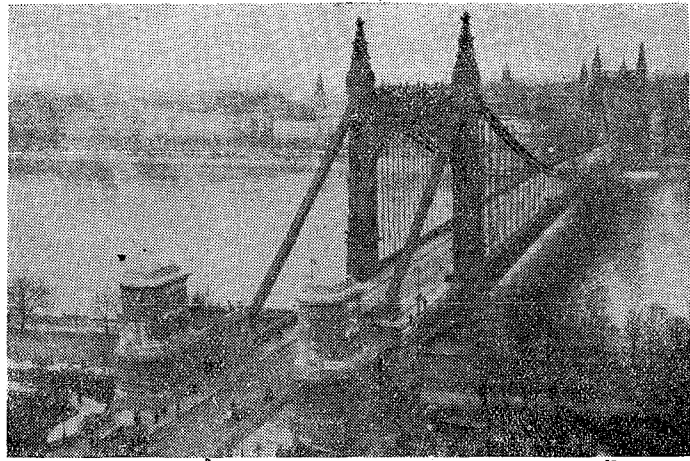
ベニス自の自動車

ゼニア港の擴張工事も一寸視察したが、相當に大規模のものであつた、此處にも新船溜にはムツソリニの名を冠して語る。ベニスには水の都と言はれて居るが、水は餘り綺麗と言ふのでは無い、矢張り繪で見るべき所であると思つた、唯だ此處では車は一切通ぜぬのでゴンドラが他都市の自動車の役をして居る、彼の石塊舗装の上を走る時は異つて殆んぎぶつ付かりはしないかと思はれる、町の角を巧みに縫つて行くのは氣持が良かった。プタベストの町の景色の良いことやら橋梁の立派なこと夫れから街路の整然としたこと殊に環狀道路の完全なものには感服の外無かつた。此處には日本語を熱心に研究して居る一大學生があつて、日本語を習ふ爲に日本人が來れば進んで親切に案内して呉れる、自分も逢つて見たが感心な事には全く獨學であるさうだが、立派に日本語も話すし文字は漢字も相當に解し普通の手紙位は読みもするし書きもするが、近く卒業後は更に日本の大學に入學して文學を研究したい云つて居る。少し時間があるのでホテルの附近を共に散歩したが、こゝ

ムツソリ首相の御蔭と言ふべきであらう。

通 信

る廣場で其處には嘗てハンガリーの盛な頃、四圍を併呑し



一 の 梁 橋 ト ス ペ タ プ

せられた自國を顧み、悲憤の涙に暮れて居たのは氣の毒であつた。ウイーンも同様に環狀道路の立派なこゝが眼に付いた。

チエッコ國に入りては、其の産業の盛なこゝ、首府ブライグの景色の良い都であるこゝは想像以上であつた、殊に市の中央にあるバクラバスケ、ナムミ稱する大通りのモザイツク歩道は、今迄見た都市の中で一番良く出来て居ると思つた。此モザイツク歩道は是非日本でも施工したいと思つた、工法も左程に六ツかしくも無く、材料も容易に得られて都市の美觀を増すからである。

獨逸に入つてドレスデンで下車し、同市の水道を視たが水は川から取り入れてゐるが、直接取水するのではなく流れに平行して河岸に取水暗渠を設けて矢張り地下水式にやつて居る、淨化装置も完全して居り鹽素瓦斯を使用して居るが其の溶解液の注入量を自動的に調節する作用が珍らしい餘程良く出来て居るので、圖面の交付を要求したがバチントだからと言つて、圖面は勿論のこゝ寫真に撮すこゝすら

た東西南北の紀念像があるが、其前に立つては現在の縮少

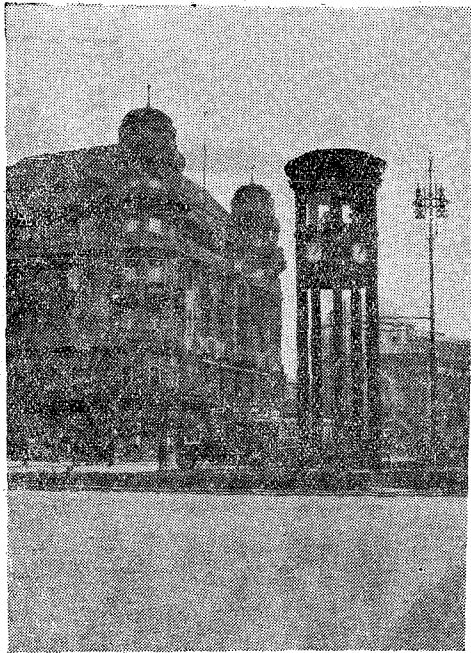
斷られた、斯かる例は度々で一般に歐洲の各工場では秘密主義を採つて、見物するだけでも紹介状無しでは不可能である、尤も特種のものであつて一瞥して眞似の出来るものなら己むを得ないだらうが、詰らぬ工場迄が斯かる手段を採つて居るのには寧ろ可笑しい位である。

再びベルリンに入つたが、各國の都市を廻つて來て一番先に目に付いたこゝはベルリンの道路の良好なこゝであつた。他の都市では已に述べたやうに石塊舗装が多いのであるが、ベルリンは反對にアスファルトが主であつて、而かも主要街路には殆んど全部に互つて街路樹が植付けられ實に氣持が良い。

ウンター、デン、リンデンの如きも歐洲の三大道路として併稱せらるゝ彼の巴里のシアンゼリゼ

ー、ウイーンのリング、ストラッセに比して遙かに勝つて居る、シアンゼリゼは幅は無暗に廣いが距離も短かく何

だか纏つた感じを與へない、ウイーンのリング、ストラッセは都市計畫上より見た路線としては或は上乘であらう



塔理整通交のツラフ。ーマダツッポ。ンリルベ

が、街路の構造は大したものではない。ベルリンのウンターデン、リンデンは延長約六哩に互て、直線の大道路であつて、

其中二哩のシアートルツテンブルガー、シヨールセーの如きは、



部一の街市ンリルベ

造も最も新らしくて實に壯快極まりない道路である。此他の賑かな通りではアスファルトの舗装が不斷の交通に依つて磨かれ、鏡のやうに光り輝きて夜は兩側に在る商店の影を映して居る。随分交通量も多いやうであるけれども、道路が廣いので彼のロンドンに見るやうな混雑はない、又交通整理も良く行き届いて居て、最も繁華なポツツダマー、ブラツツの如きは、高い塔を設けて其上の信號燈で、交通を整理して居るから遠方から望むこゝが出来て甚だ便利である。

以上で大體歐洲の視察感想は終るのであるが、已に前便にも述べたやうに、獨逸の活氣は大したものであつて、何處へ行つても工場は盛に煙を上げ國民は精勤であつて眞に舉國一致の實を顯はしてゐる、最近郵船會社の人から聞いた話であるが、獨逸人は商人も會社も一致して總ての輸出品は自國の船以外には積まぬ決議をしたので、獨逸の船會社は他國の船會社が荷が無いので青息吐息の状態で居るに反し、荷が多過ぎて困つて居るの事であつた。兎に角獨逸を見て我々も緊裸一番大に努力せねばなりぬとの感を起した。(昭和三年二月三日)

有名な大公園アーチ、ガルテンの中を走つてゐて、其の構